

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

解体されたカネボウの「残り物」事業をどう再建したか 金田 信一郎（作家・ジャーナリスト）

1. 解体されたカネボウは、優良事業は他社に持っていかれ、3事業（日用品・薬品・食品）が残った。クラシエは「残り物」からのスタートだった。わずか10年で業績を立て直し、高収益企業に変貌していた。当時のクラシエ社長、石橋康哉はこう言った。「涙も流し地獄もみた。カネボウ破綻を知らない人が半分以上になった。我々はあの頃のことを伝え遺さなければならない」。
2. 破綻した会社の、見捨てられた事業をどうやって復活させたのか。石橋氏は「家族主義のいい部分だけを引き継いだ」。「もちろん、悪いところはあった」。上司は「数売ってこい」と言うだけ。安価だったので店頭では飛ぶように売れた。ところが、あとで採算を見ると赤字を膨らませているだけだった。そこで石橋氏はすべての経営情報を開示した。現場の社員が経営数字を理解したうえで、販売や開発のアイデアを考える。
3. 石橋氏は、全国の職場を回って、社員との飲み会を続けた。社員旅行も復活させた。ほかの経営幹部は青ざめた。「若手が嫌がってついてこない」。じゃあ若手に企画させればいい、と年間数千万円の予算を投じて、1～2年目の若手に好きな企画を立てさせる。悪いことも含め、すべてをさらけ出して、熱く討論する。「若い人は給料のいい会社に移っていく。でも、こういう会社があつていい。我々は、家族主義だって言うことにしている」。

(参考「週刊東洋経済」2023年7月15日号)

経営者のための社会学

豊かなシニアライフ

昇 幹夫（医師・日本笑い学会副会長）

1. 遺伝子工学の世界的権威である故・村上和雄先生は、笑いが特定の遺伝子を活性化させることを突き止め、それを「笑いと遺伝子のスイッチがオンになる」と表現しました。逆に、怒りや悲しみなどの強いストレスがかかった人の腸内を腹腔鏡で観察すると、苦しもうにのたうち回っています。体と心はしっかりつながっているのです。
2. 免疫力は、20歳頃をピークに、年を重ねるほどに下がっていく。だからこそ、高齢者ほど免疫力を高める行動が大事です。よく眠り、健康的に食べること。後はできるだけ笑って過ごすことです。昇氏が考案した、愉快地に過ごすための「あいうえお養生訓」を紹介しよう。①あ：会いたい人に会う。②い：行きたいところに行く。③う：歌いたい歌を歌う。④え：遠慮しない。⑤お：おいしいものを食べる。

(参考：「週間ダイヤモンド」2023年7月1日号)

人事・労務について

「出戻り人材」を企業成長の力に

1. 多くの企業が人手不足対策に頭を悩ませる中、一度中途退職した元社員を「再雇用」する「アルムナイ（卒業生）採用」に活路を見いだす企業が増えている。野村ホールディングス、三菱UFJ銀行、KDDI、三菱化学…。企業にとって「元社員」である「アルムナイ」は、他の中途採用者よりも自社の企業文化や業務に対する理解が深い。加えて、退職後に社外で働いた経験を生かして、新しい知見を持ち込んでくれる人材になり得る。
2. 今後、人材の流動性が高まれば「学歴」よりも「職歴」が重視されるだろう。それだけに優秀な人材を囲い込むのではなく「アルムナイ」として社外に出し、良好な関係を構築する戦略は、企業価値の向上や、より優秀な人材を引き付ける観点からも重要になる。

(参考：「日経ビジネス」2023年7月10日号)

古典に学ぶ

今起きている状況を受け入れる

1. では、実際にはどう動けばいいかというと、具体策はケース・バイ・ケースなので一概にはいえません。ただ、どんな場合でも共通する重要なポイントがあります。
2. それは、「今起きている状況をきちんと把握し、受け入れること」です。自分の置かれた状況をしっかり見極め、いったん受け入れてみる。すると、おのずと今後とる行動が見えてくるでしょう。

(参考：名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」：河出書房新社)